

教科	国語	単元名	スイミー
----	----	-----	------

本時のねらい

内容が伝わるあらすじになるように、自分で言葉を選んで書くことができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ 端末上で「言葉のカード」を使って文の構成を繰り返し考え、整理することができ、また、修正することも簡単にできる。
- ・ 書いたり発表したりすることが苦手な児童にとっても、活動に取り掛かる手立てになる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・SKYMENU Class 「発表ノート」
- ・大型モニター
- ・スクリーン
- ・書画カメラ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあての確認 ・「読んだ人がお話を読みたいくなる紹介文」を書くことを意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備として、発表ノートのワークシートを各自のタブレット PC に配付しておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">めあて「スイミーのあらすじを書こう」</div>		
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○あらすじメモの作成 【写真 1】 ・発表ノートで、各場面を表す言葉を自分で選んでつなぎ、あらすじの構成を考える。 ○あらすじメモの共有 ★あらすじメモをペアで交流する（あらすじメモからあらすじを表現してみる） 【写真 2】 ★わかりやすかったあらすじメモを全体で共有する。 ○あらすじメモの再検討 ・友だちの発表や意見から気づいたことを踏まえて、あらすじの構成を再検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンにあらすじメモを映して、教師が実際に操作しながら作り方の説明をする。 ・あらすじメモを作成する際のチェックポイントを大型モニターに示し、いつでも確認できるようにする（黒板に貼り付けたスクリーンとは別に黒板の横に設置された大型モニターに常に表示）。 ・端末の画面を友だちに見せながら交流するように促す。 ・スクリーンに発表者のあらすじメモを投影し、全体で共有する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○あらすじを書く（原稿用紙に） 【写真 3】 ○書いたあらすじを見直す ○次時の学習の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ノート上であらすじメモを修正させる。 ・書画カメラでワークシートをスクリーンに映し、あらすじの書き方を説明する（スクリーン上に注意点を書き込む）。 ・発表ノートのあらすじメモを見ながら、言葉のつながりに気をつけて、あらすじを書かせる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】 スクリーンに投影したあらすじメモ。必要な言葉を下から選択したり、追加したりできる（助詞を付け加えることもできる）。



【写真 2】 作成したあらすじメモをペアで交流している場面（メモを見ながらあらすじを話す）。



【写真 3】 再検討したあらすじメモを見ながら、あらすじを原稿用紙に書いている場面。

児童生徒の反応や変容

書くことが苦手な児童も、端末上であらすじメモを作成する活動に意欲的に取り組むことができた。その結果、あらすじを書く際にもスムーズに取り組むことができていた。また、友だちと交流して気づいたことをすぐにあらすじメモに反映することができるため、考えを深めることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ 考えをまとめたり、修正したりすることが容易にできるという点において、ICT の活用は有効だと感じた。
- ・ 意見を交流する際（ペアの相手にあらすじを説明、全体で共有する場面等）、内容理解や表現活動において視覚的な補助にもなった。